

平成 13 年 3 月 27 日

各 位

会社名 株式会社インプレス
代表者名 代表取締役社長 塚本慶一郎
(コード番号：9479 東証第1部)
問合せ先 代表室広報担当 島野千鶴
(TEL： 03 - 5275 - 9094)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、昨年 11 月 20 日の中間決算発表時に公表した平成 13 年 3 月期（平成 12 年 4 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 13 年 3 月期連結通期業績予想数値の修正（平成 12 年 4 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	16,113	895	474
今回修正予想（B）	14,600	550	350
増減額（B - A）	1,513	345	124
増減率（％）	9.4	38.5	26.2
（ご参考） 前期実績（平成 12 年 3 月期）	12,965	1,222	677

2. 13 年 3 月期通期業績予想数値の修正（平成 12 年 4 月 1 日～平成 13 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	9,647	839	462
今回修正予想（B）	8,700	500	350
増減額（B - A）	947	339	112
増減率（％）	9.8	40.4	24.2
（ご参考） 前期実績（平成 12 年 3 月期）	7,949	714	361

3. 修正の理由

(1) (単体) 通期業績予想の修正について

出版業界の低迷の影響を当初予想以上に受けたこと、また個別 IT 関連雑誌・書籍の一部に伸び悩みがみられ、売上高の未達及び売上総利益率が低下し、前回公表いたしました業績予想を下回る見込みであります。

(2) 連結通期業績予想の修正について

出版チャンネル事業は、単体通期業績予想の修正を主因とした修正を行いました。

加えて、デジタル/EC チャンネル事業において、デジタル広告は好調に推移いたしました。EC（電子商取引）の商材投入に当初計画から遅れが生じた結果、売上予想を大きく下回ることとなり、これら要因を考慮し、1 に記載いたしました連結通期業績予想の修正を行うものであります。

(業績予想に関する注意事項)

本リリースに記載されております業績予想は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績につきましては、業績予想とは異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。

4. 来期以降の見通し

出版チャンネル事業において、Windows 用基本ソフトウェア等に再度特化した書籍企画の他、専門書等のラインナップを充実する予定であります。また、雑誌は不採算商品の整理を積極的に行いつつ、新雑誌を創刊する予定であります。これらにより売上高の拡大及び採算性の向上に努めてまいります。

また、デジタル/ECチャンネル事業においては、デジタル総合ニュースサービス「impress Watch」シリーズを中心としたコンテンツのジャンル・ラインナップの充実と、一部低成長コンテンツの休刊、各コンテンツのクオリティの強化及び新規販売チャンネルの開拓を図ることで、特に利益性の高いデジタル広告の売上高の拡大及び採算性の向上を目指してまいります。

以 上